

はじめに ～災害に強いまちづくりの実現に向けて～

近年、全国各地で豪雨災害をはじめ、地震などの自然災害が相次いで発生し、甚大な被害をもたらしています。東日本大震災以降では、鬼怒川が決壊した平成27年関東・東北豪雨、震度7を2度観測した平成28年熊本地震、そして令和元年には関東地方を直撃した台風第15号（令和元年房総半島台風）と台風第19号（令和元年東日本台風）など、これまでの想定を超えた自然の猛威が各地を襲いました。

特に、台風第19号では、利根川が氾濫危険水位を超えたため、春日部市市制施行後初めての避難勧告を発令する事態となり、改めて自然災害の恐ろしさを痛感いたしました。

こうしたこれまでの経験を基に、春日部市ではいつ起こるか分からない災害の発生に備えて、対策の強化を図っておりますが、災害が発生した場合、市や防災関係機関の対応だけでは立ち向かうことはできません。被害を最小限にとどめるためには、自助・共助を、市民の皆さま一人ひとりが心掛けていただき、実践することが大切です。

この新しい災害ハザードマップは、洪水時の浸水区域や浸水深に関する情報のほか、災害情報の入手方法、水害時のマイ・タイムラインなど、より実用的な内容となっております。ご家庭のみならず地域や職場など、あらゆる場面でご利用いただき、災害時に備えていただきたいと思います。

今後も市民の皆さまの大切な生命、財産を守るため、全力で防災・減災対策に取り組んでまいりますので、市民の皆さまも引き続き「自分たちのまちは自分たちで守る」の精神のもと、ご協力をお願いいたします。

2021年（令和3年）6月

CONTENTS — もくじ —

■ 表紙上写真:赤浜で被災した観光船「はまゆり」(大槌町)／表紙下写真:「台風19号時の川越市」((株)バスコ/国際航業(株)) 表紙	
過去の大災害の教訓を活かし、防災・減災へ／マイタイムラインを作ってみよう	1
日本の近年の災害について／令和元年東日本台風（台風第19号）	2-3
地震の被害と対応／日頃から地震に備えて、自宅を点検しておこう！	4-5
春日部市に想定されている地震（揺れやすさマップ・液状化危険度マップ）	6-7
洪水の危険性と注意点／浸水の深さと避難行動	8-9
マイ・タイムラインをつくろう	10-11
洪水ハザードマップとは／春日部市の河川情報／地図の見方・凡例(Multilingual)	12-13
洪水リスクマップー利根川 1「庄和・幸松」	14-15
洪水リスクマップー利根川 2「内牧・幸松・豊春・粕壁」	16-17
洪水リスクマップー利根川 3「幸松・庄和・粕壁・豊野」	18-19
洪水リスクマップー利根川 4「豊春・粕壁・武里」	20-21
洪水リスクマップー利根川 5「武里・豊野・庄和」	22-23
洪水リスクマップー江戸川 1「庄和・幸松」	24-25
洪水リスクマップー江戸川 2「内牧・幸松・豊春・粕壁」	26-27
洪水リスクマップー江戸川 3「幸松・庄和・粕壁・豊野」	28-29
洪水リスクマップー江戸川 4「豊春・粕壁・武里」	30-31
洪水リスクマップー江戸川 5「武里・豊野・庄和」	32-33
洪水リスクマップー荒川／大落古利根川・新方川・中川・元荒川「春日部市全域」	34-35
自助・共助～避難の心得／自主防災組織の活動に参加しましょう！	36-37
避難所での注意点	38-39
災害情報の伝達方法と入手先／非常時の持ち物、備蓄品	40-41
指定避難先一覧	裏表紙

～過去の大災害の教訓を活かし、防災・減災へ～

過去に発生した大災害について、みなさんはどのくらい記憶に残っていますか？
将来、起こりうる大災害について、みなさんはどのくらい理解していますか？

2011年（平成23年）3月11日に東北太平洋沖で発生した「東日本大震災」、2019年（令和元年）10月12日に関東地方に上陸した超大型台風「台風第19号」では、東北・関東地方に甚大な被害をもたらした。春日部市にも大きな影響がありました。

災害はいつ、どこで、どの程度の規模で発生するのかわかりません。「その日」は数年後、数十年後、あるいは明日かもしれません。自分や大切な人を守るためには、起こりうる災害を理解し、日頃から適切な備えをしておく必要があります。

ハザードマップはあくまで想定図ですが、マップを活用して事前に災害をイメージし、避難行動について準備することができれば、いざという時に慌てずに行動することができます。

本災害ハザードマップには、さまざまな防災に関する情報を掲載していますので、あらかじめ目を通していただいき、みなさん一人ひとりの災害に対する日頃の備えに役立ててください。

家の位置を確認し、避難経路を考えよう

あなたの家の場所をマップに書き込み、
最寄りの避難所を複数選びましょう。



実際に避難所まで歩いてみよう

地図で選択したそれぞれの避難所までの経路を確認
しましょう。避難経路が安全かどうか、避難にどのくら
い時間がかかるか
についても確認
しましょう。



家の周りの災害の危険性を確認しよう

あなたの家は、浸水が想定されている地域ですか？
家の周りにブロック塀などの
危険な場所はありますか？



災害や避難について、話し合ってみよう

あなたの家だけでなく、家族の職場や
よく行く場所などについても
避難所や危険性を
確認しましょう。



マイ・タイムラインを作ってみよう

●マイ・タイムラインは、大雨や台風が接近しているとき
に、自分や家族が「いつ」「何をするのか」をあらかじめ決
めておく計画表のことです。
いつ災害が起こっても落ち着いて行動できるように、個
人や家庭の実情に合ったそれぞれのマイ・タイムライン
を作成しておきましょう。

P10～11



本冊子の地図部分は、「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 752」を得て作成。

日本の近年の災害について

平成は大災害に見舞われた時代

近年、特に地震や噴火、風水害といった災害が頻発しています。雲仙普賢岳の噴火、阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、そして、2万人を超える犠牲者を出した東日本大震災や熊本地震、その後も、台風や前線がもたらす豪雨により、毎年のように災害が起きています。



2011年（平成23年）東日本大震災



2015年（平成27年）関東・東北豪雨（鬼怒川決壊）



2016年（平成28年）熊本地震



2018年（平成30年）西日本豪雨

2018年（平成30年）は、3カ月間で4度の大災害が発生し、自然の猛威と災害対策の重要性を痛感した年となりました。「酷暑」とも呼べる猛暑に加え、頻発する規模の大きい災害の発生、感染症への対応など、災害対策のあり方は大きな変化を求められています。

1990年		
1991	6.3	雲仙普賢岳火砕流
1993	7.12 10:17	北海道南西沖地震 M7.8
1995	1.17 05:46	兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）M7.3
2000年		
2000	6.26	三宅島噴火
	10.6 13:30	鳥取県西部地震 M7.3
2001	3.24 15:28	芸予地震 M6.7
2004	10.23 17:56	新潟県中越地震 M6.8
2005	3.20 10:53	福岡県西方沖地震 M7.0
2007	3.25 09:41	能登半島地震 M6.9
	7.16 10:13	新潟県中越沖地震 M6.8
2008	6.14 08:43	岩手・宮城内陸地震 M7.2
2010年		
2011	3.11 14:46	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）M9.0 津波 原発事故
	4.11 17:16	福島県浜通り地震 M7.0
	9.4	紀伊半島大水害（台風第12号）
2013	10.16	伊豆大島土砂災害（台風第26号）
2014	8.20	平成26年8月豪雨による広島市土砂災害
2015	9.10	平成27年9月関東・東北豪雨 鬼怒川 決壊
2016	4.14 21:26	平成28年熊本地震 M6.5 震度7 2回
	4.16 01:25	平成28年熊本地震 M7.3 大規模 洪水
2017	7.5	平成29年7月九州北部豪雨 大規模 停電
2018	6.18 07:58	大阪府北部地震 M6.1
	7.6	平成30年7月豪雨（西日本豪雨）
	9.4	平成30年台風第21号
	9.6 03:07	平成30年北海道胆振東部地震 M6.7 大規模 停電
2019	8.27	令和元年8月の前線に伴う大雨（九州北部豪雨）
	9.9	令和元年房総半島台風（台風第15号） 暴風 長期停電
	10.12	令和元年東日本台風（台風第19号） 超大型 台風
2020年		
2020	7.3	令和2年7月豪雨

私たちのまち 春日部市 は？

令和元年東日本台風（台風第19号）

10月6日に南鳥島近海で発生した台風第19号は大型で猛烈な台風に発達し、12日には大型で強い勢力を維持したまま関東地方に上陸しました。台風の通過中には全国各地で大雨警報が発令され、多くの地点で3・6・12・24時間雨量が観測史上1位を記録するほどの豪雨となりました。この影響により、各地で河川の氾濫や土砂災害による人的・家屋の被害、ライフラインへの被害が発生したほか、航空機や鉄道の運休による交通障害が生じました。



出典：JMA、NOAA/NESDIS、CSU/CIRA

利根川平常時と令和元年東日本台風時の水位変化（栗橋水位観測所）



平常時の様子

写真提供：利根川上流河川事務所



令和元年東日本台風時の様子

写真提供：利根川上流河川事務所

市の対応 ～初めて避難勧告を発令～

春日部市では、10月12日午前4時6分に大雨警報が発令されたことにより、警戒本部を設置しました。雨はますます勢いを増して降り続き、13日午前0時15分に利根川が避難判断水位（当時 8.1m）に到達、その後氾濫危険水位（当時 8.9m）に到達する見込みであると発表がありました。これを受けて、市は警戒本部から災害対策本部へ移行、全職員を参集し災害体制をさらに強化しました。

また、13日午前2時15分に市内66か所の避難所を開設し、午前2時38分に警戒レベル4「避難勧告」を発令しました。その後水位が氾濫危険水位を下回ったため、13日午前11時00分に避難勧告を解除し、全避難所を閉鎖しました。

台風19号時の、市公式ホームページトップ画面

春日部市 緊急災害サイト

台風19号の大雨により春日部市全域に避難勧告（レベル4）を発令しています

令和元年10月12日
台風19号の大雨・暴風に伴い、春日部市全域に避難勧告を発令しています。最大級の警戒をして、命を守る最善の行動をとってください。避難行動のものが危険な場合は、2階などの室内でできるだけ安全な場所に移動してください。

利根川栗橋水位観測所における水位の変化（2019年10月12日13時～13日13時）

